

小規模事業者活性化基盤整備事業(その2)に係る助成金交付規程に基づく  
基金活用事業に係る運営及び管理に関する基本的事項の公表

2024年3月  
2024年7月追記  
日本商工会議所

1. 基金の名称

小規模事業者活性化基盤整備事業基金

2. 基金の額

800,000,000円

○2019年3月(当初造成額): 500,000,000円

○2024年3月(積み増し額): 300,000,000円

3. 基金のうち独立行政法人中小企業基盤整備機構からの助成額

800,000,000円

○2019年3月(当初造成額): 500,000,000円

○2024年3月(積み増し額): 300,000,000円

4. 基金活用事業の概要

商工会議所の経営指導員による小規模事業者に対する経営支援業務の効率化・高度化によりDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進していくための基幹システムの機能強化(新技術搭載に向けたシステム開発・プログラム改修等)、活用促進、運用環境の整備等を通じて、きめ細やかな経営指導を行うことを目的に、以下の事業を実施する。

<当初事業(2019年4月～2024年3月)>

○民間のクラウド型経営支援ツールの商工会議所への導入促進及びデータの共有

○TOAS(商工会議所業務システム)における、商工会議所の経営支援データの共有・分析のための改修・機能追加及び活用促進

○上記で蓄積されたデータの共有・分析のためのシステム開発

<継続事業(2024年4月～2029年3月)>

○商工会議所経営支援業務のDX推進に向けたシステム開発、およびTOAS(商工会議所業務システム)への実装にかかるプログラム改修、活用促進

○商工会議所経営支援業務のDX推進に向けたシステム運用

○上記事業でシステム開発等を委託する業者の選定および研修会等の運営

5. 基金活用事業を終了する時期

2029年3月31日

## 6. 定期的な見直しの時期

毎年度

## 7. 基金活用事業の目標

<当初事業(2019年4月～2024年3月)>

- 民間のクラウド型経営支援ツールの商工会議所への導入促進及びデータの共有
  - ・5年間で300か所程度の新規導入を目指し、導入した商工会議所における経営支援データの蓄積と活用、ツールを活用した伴走型支援の深化(支援事業者のフォローアップ率の向上)を図る。
- TOAS(商工会議所業務システム)における、商工会議所の経営支援データの共有・分析のための改修・機能追加及び活用促進
  - ・中小企業庁が商工会議所における経営支援の実施状況等を把握・分析するため、毎年、各地商工会議所からの報告を求める調査について、TOASに蓄積されたデータを共有し、回収する仕組みを構築する。
- 上記で蓄積されたデータの共有・分析のためのシステム開発
  - ・経営支援データの共有にあたり、個別の事業所が特定されてしまうような法人・個人情報や、経営上の機微に触れる情報等(主に属性情報等)を自動で匿名加工処理するための実証実験を商工会議所で行い、匿名加工処理システムを民間のクラウド型経営支援ツール及びTOASに実装する。
  - ・匿名加工処理するための実証実験等を踏まえ顕在化した経営指導上の課題解決に向けて、経営指導業務の高度化・効率化にかかる検討・検証を実施するとともに、各課題で優先度の高いデータ収集・蓄積について効率化するため、クローリング機能の研究・開発によるデータ登録率の向上に加えて、蓄積した経営支援データを効果的に活用するためAI助言サービス機能等の研究・開発によりデータの共有化・ビッグデータ分析を行うことで経営支援業務の質と量の向上を図る。

<継続事業(2024年4月～2029年3月)>

- 商工会議所経営支援業務のDX推進に向けたシステム開発、およびTOAS(商工会議所業務システム)への実装にかかるプログラム改修、活用促進
  - ・生成AI等を活用した経営相談内容の自動記入・要約機能、およびOCR(光学的文字認識装置)等を活用した事業所決算書類情報の自動登録・仕訳機能等を開発して、TOASに実装する。
  - ・TOASに蓄積された経営支援データや公開情報の経営支援事例等を生成AI等に学習させて経営支援ノウハウや類似相談事例等を共有する機能等を開発して、TOASに実装する。
  - ・経営指導員等を対象に、全国各地で操作体験研修会やベストプラクティス情報交換会等の開催、ユースケースを共有するためのガイドブックや動画等の活用・視聴を促してTOAS経営支援データの更なる蓄積・活用の好循環形成を進め、経営支援能力の更なる向上に繋げる。

- 商工会議所経営支援業務のDX推進に向けたシステム運用
  - ・上記で開発・構築した支援機能やクローリング機能を、全国の経営指導員等がクラウドシステムを通じていつでも容易に利用できる環境を提供する。
- 上記事業でシステム開発等を委託する業者の選定および研修会等の運営
  - ・業務委託先業者の募集・選定にかかる会議・審査等や、経営指導員等を対象に全国各地で開催する操作体験研修会やベストプラクティス情報交換会等を円滑に運営する。

#### 8. 申請方法・申請期限・審査基準・審査体制

＜小規模事業者活性化基盤整備事業(経営支援基盤整備事業)「2024 年度基金活用事業」に係る経営支援業務における生成 AI 等の活用に向けた研究・実証事業請負業務＞

- 本業務の申請方法・申請期限・審査基準については、公募情報ページに掲載の「公募要領」を参照。

[公募情報ページ] [https://www.jcci.or.jp/about/information/24kobo\\_toas.pdf](https://www.jcci.or.jp/about/information/24kobo_toas.pdf)

- 本業務の審査体制については、事業者選定委員会の概要を参照。

[小規模事業者活性化基盤整備事業に係る事業者選定委員会]

[https://www.jcci.or.jp/about/information/24kobo\\_toas\\_shinsataisei.pdf](https://www.jcci.or.jp/about/information/24kobo_toas_shinsataisei.pdf)

以上